

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和3 年度

市町村名	本庄市					
提案事業名	本庄市共生社会づくり交流事業					
事業期間	令和2年度 ～ 令和2年度					
成果指標	(成果を検証する指標) トルコのホストタウンとしての認知度					
	(成果検証の具体的な方法) イベントなどにおいてアンケートを行い、トルコのホストタウンとしての認知度を調査する。					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	Ⓐ
	従前値 (R2年1月時点)	—	目標値 (R3年3月時点)	50%	実績値 (R3年3月時点)	100%
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)		稼働率 (%)	(目標) (実績)	
住民への公表状況 及び特記事項		広報紙、ホームページ等で周知を行う。				

【事業効果の整理・原因分析】

令和2年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① ホストタウン交流事業	○	パラテコンドートルコ共和国代表選手団の事前合宿受け入れに伴う競技体験教室や交流会の実施は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施することが出来なかったが、市内小学校で実施した駐日トルコ共和国大使及び外交官との交流事業を通じてホストタウンとして地域の活性化、地域が一体となったトルコチームへの応援をするための機運醸成も図ることができた。
② 東京2020大会への機運醸成・レガシー創出事業	○	東京2020大会開催に向けたさらなる機運醸成のため、日本ブラインドサッカー協会と連携し、コロナ禍においても感染症対策を講じつつ市内小学校で北澤豪氏を招いた競技体験教室を実施することができた。 体験を通じて、健常者と視覚障害者が混ざり合い同じ目的を共有している姿を体感してもらうことができ、パラリンピックに対する機運醸成のほか、視覚障害に対する理解促進のきっかけを提供できた。
③	○ △ ×	
④	○ △ ×	
⑤	○ △ ×	
⑥	○ △ ×	

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	<p>広報ほんじょうにて継続的にホストタウンコラムを掲載していることもあり、トルコ共和国のホストタウンとしての認知度は非常に高いものであった。</p> <p>共生社会ホストタウンの認知度向上を5割以上の方から得るという目標に対し「本庄市がトルコを相手国とする共生社会ホストタウンになろうとしていることを知っていましたか」（回答数：187人）の質問を行ったところ、 ・知っていた：58.3%（109人） ・知らなかったがこのイベントで知った：41.7%（78人）の回答が得られ、本庄市の共生社会ホストタウンとしての認知度向上に寄与することができた。</p> <p>また、市内小学校で事業が実施できたことにより、次世代を担う子供たちへのレガシー創出に寄与することができた。</p>
実施事業について 成果が不十分である点	
成果検証を踏まえた 今後の改善策	